

平成28年度 厚生労働省 看護職員確保対策特別事業

「看護教員・実習指導者の養成及び継続教育の今後の在り方に関する調査」

調査実施者：一般社団法人 日本看護学校協議会

調査Ⅰ

教務主任養成講習会修了者へのインタビュー調査

＜対象＞

平成24～27年度までに2箇所の開催地（東京・大阪）の教務主任養成講習会を修了し、調査時に看護師等養成所で勤務している者

＜方法＞ 半構成的面接による質的調査

＜期間＞ 平成28年8～9月

＜回答者＞ 10名

＜調査内容＞（報告書より抜粋）

- ① 看護教員の質の向上に向けての課題
- ④ 講習会の課題や期待

調査Ⅱ

教務主任養成講習会修了者への質問紙調査

＜対象＞

平成24～27年度までに2箇所の開催地（東京・大阪）の教務主任養成講習会を修了し、調査時に看護師等養成所で勤務している者

＜方法＞ 郵送による質問紙調査

＜期間＞ 平成28年11～12月

＜回答状況＞ 76名（80.0%）

＜調査内容＞（報告書より抜粋）

- ① 看護教員の質の向上に向けての課題
- ② 専任教員養成講習会
- ③ 教務主任養成講習会
- ④ 講習会の課題や期待

調査Ⅲ

教務主任養成講習会未受講者へのインタビュー調査

＜対象＞

教務主任養成講習会未受講で、教務主任の職位に就いている者

＜方法＞ フォーカスグループインタビュー

＜期間＞ 平成29年2月

＜回答者＞ 11名

＜調査内容＞（報告書より抜粋）

- ④ 講習会の課題や期待

① 看護教員の質の向上に向けての課題

- 看護教員の継続教育や、キャリア発達を考えた組織づくりが必要との意見がみられた。
- 変化する学生や専門知識について理解する必要性に加え、新たな教育方法を学ぶ必要があるとの意見がみられた。

看護教員の質の向上に向けての課題は何か

(調査Ⅰ インタビュー結果からの抜粋・一部改変)

看護教員の育成の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・看護教員の魅力・やりがいを発信し、看護教員の育成を目指したい ・看護学生の教育の大変さを意識し、教員になることを断られてしまう
看護教員の継続教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員養成講習会受講後、教務主任養成講習会受講までの間に必要な研修が開催されることを期待 ・専任教員養成講習会修了後、教務主任養成講習会受講までの段階的な継続教育が必要 ・看護教員のラダーの構築と継続教育の計画が必要
看護教員のキャリア発達を考えた養成所の組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・養成所として、看護教員の教育計画に基づいた人材育成が必要 ・臨床とのユニフィケーションの実施が必要
看護教員の自己研鑽の場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・看護教員の自己研鑽が必要 ・新たな知見に出会う機会をつくり、共有すること、教育に反映することが必要

看護教員の質の向上に向けて、今後学習の必要性が増すと思うことは何か

(調査Ⅱ 自由記載からの抜粋・一部改変)

学生の理解、指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・認知心理学や発達心理学などのコーチングによる学生の理解 ・成人学習者への教育 ・社会人としての力を育成する教育方法 ・特にメンタル面に問題のある学生に対しての指導力の向上に関する学習
専門的な知識	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療や他職種との連携について ・在宅に関する意識、在宅看護論の強化
研究能力	<ul style="list-style-type: none"> ・研究能力、研究に関する授業
新しい教育方法	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教育方法、eラーニングを活かした授業づくり
教育の4単位での教員の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での教育の4単位で専任教員となった者への研修

② 専任教員養成講習会

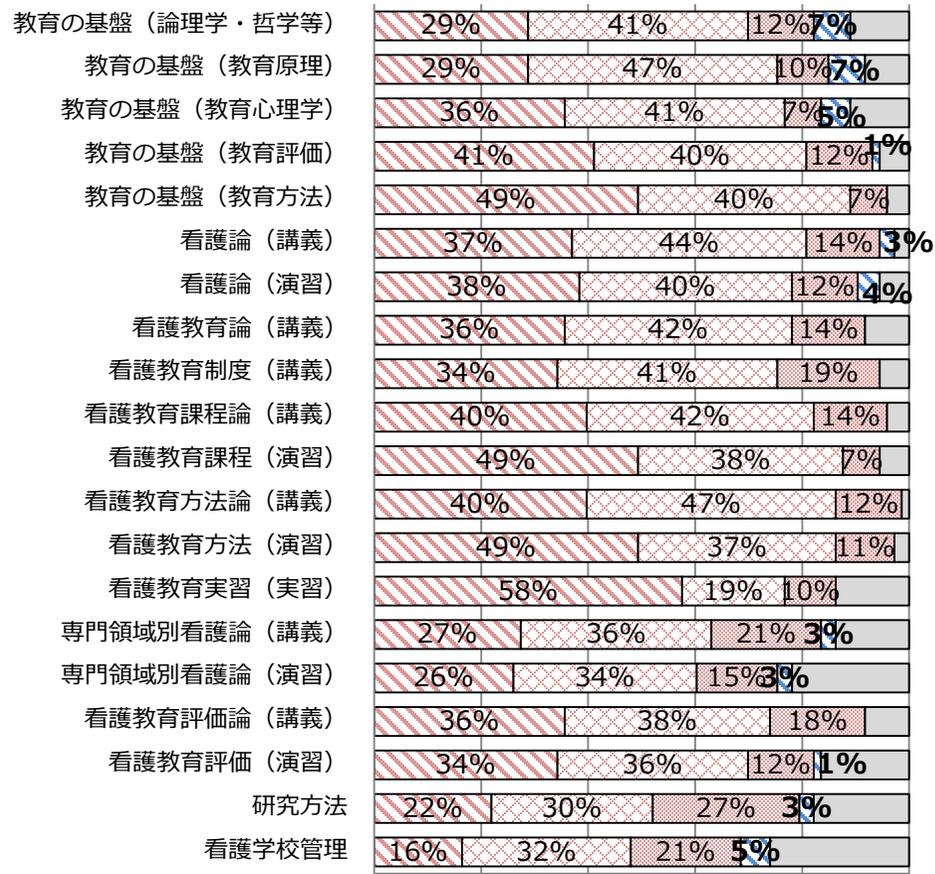
○「看護学校管理」について、有益であったと回答した者が他の教育内容に比べて少なく、学習の到達度も不十分であったと感じた者が多かった。

専任教員養成講習会の各教育内容がどの程度有益であったか

(n=73：専任教員養成講習会受講者)

□ とても有益 □ 有益 □ 少し有益 □ あまり有益でない □ 有益でない □ 覚えていない・無回答

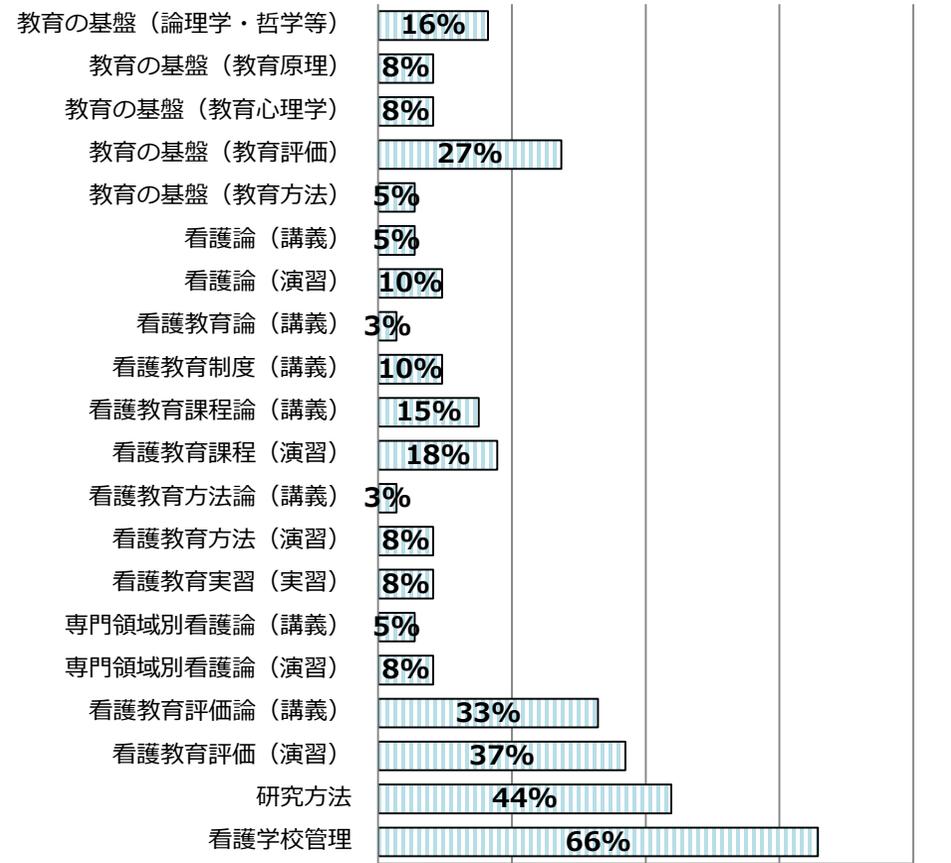
0% 20% 40% 60% 80% 100%



受講後、学習の到達度が十分でなかったと感じる教育内容はあるか

(n=73：専任教員養成講習会受講者)

0% 20% 40% 60% 80%



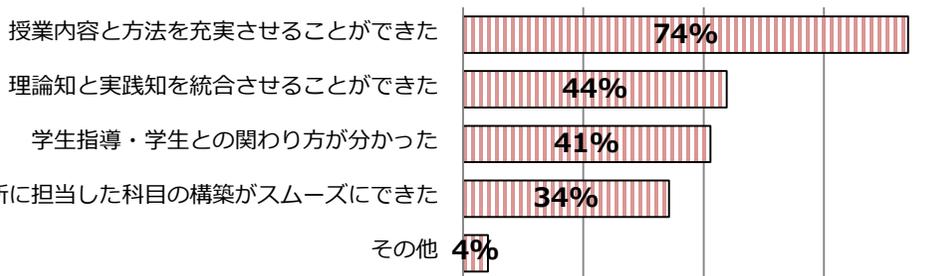
② 専任教員養成講習会

○講習会受講により、授業内容と方法を充実させることができたという回答が多かった一方で、受講には時間管理や経済的問題などの調整が困難であったとの意見がみられた。

受講後、看護教員に求められる知識・技術が身についたと思う点は何か

(n=73：専任教員養成講習会受講者)

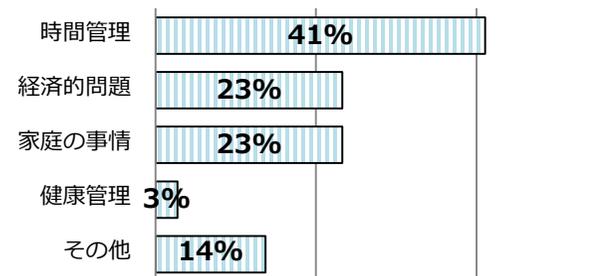
0% 20% 40% 60% 80%



受講にあたり、学習環境を整えるのに困難であったことは何か

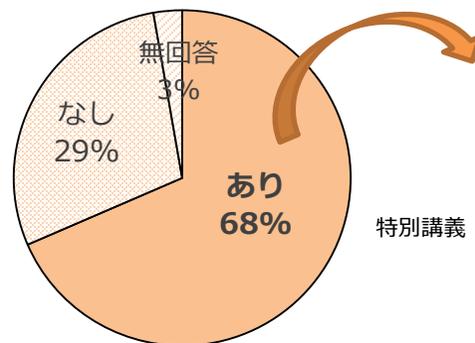
(n=73：専任教員養成講習会受講者)

0% 20% 40% 60%



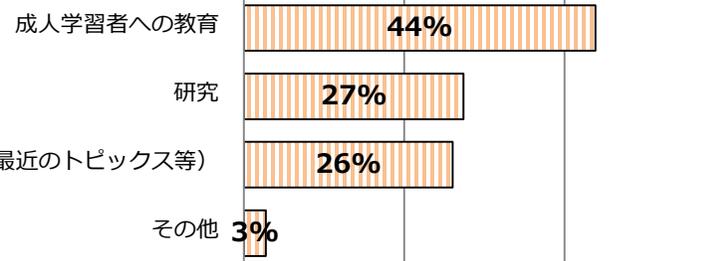
専任教員養成講習会の教育内容に追加してほしい内容はあるか

(n=73：専任教員養成講習会受講者)



特別講義（最近のトピックス等）

0% 20% 40% 60%



(n=50：ありと回答した者)

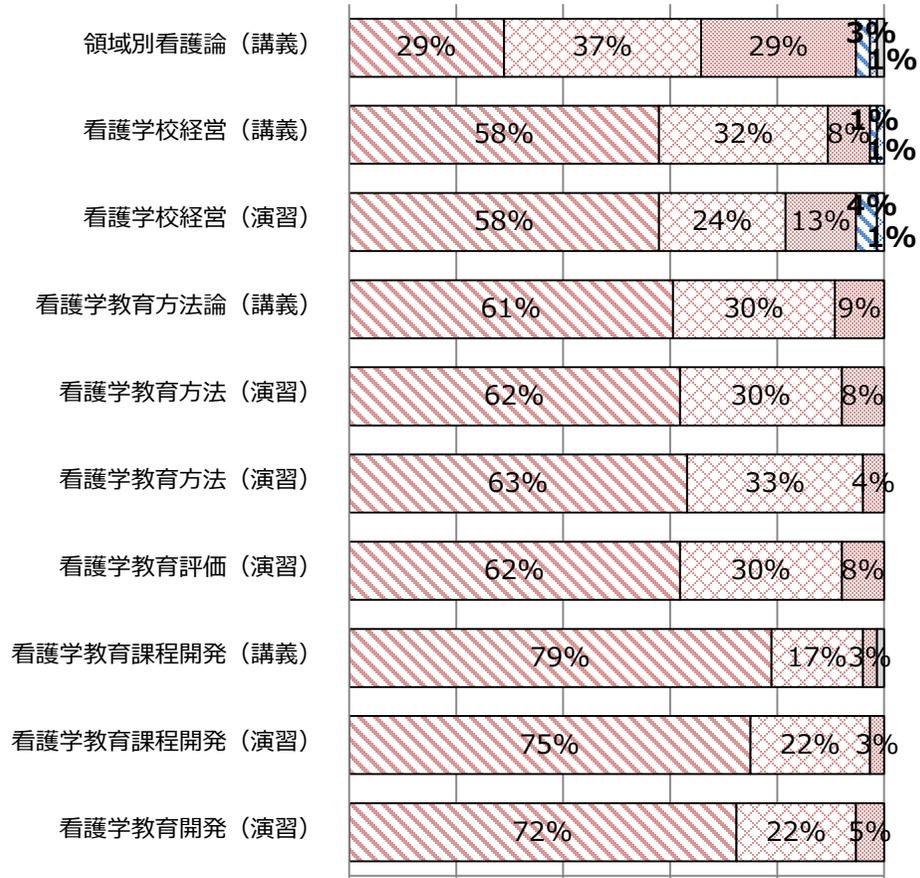
③ 教務主任養成講習会

- 各教育内容について、有益でないと答えた者はほとんどいなかった。
- 専任教員養成講習会と同様に、受講には時間管理などの調整が困難であったとの意見がみられた。

教務主任養成講習会の各教育内容がどの程度有益であったか

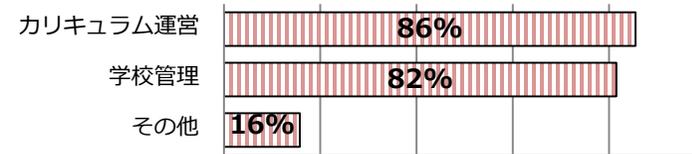
(n=76)

とても有益
 有益
 少し有益
 あまり有益でない
 有益でない
 覚えていない・無回答



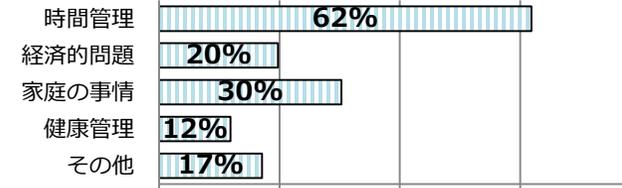
受講後、教務主任に求められる知識・技術が身についたと思う点は何か

0% 20% 40% 60% 80% 100% (n=76)



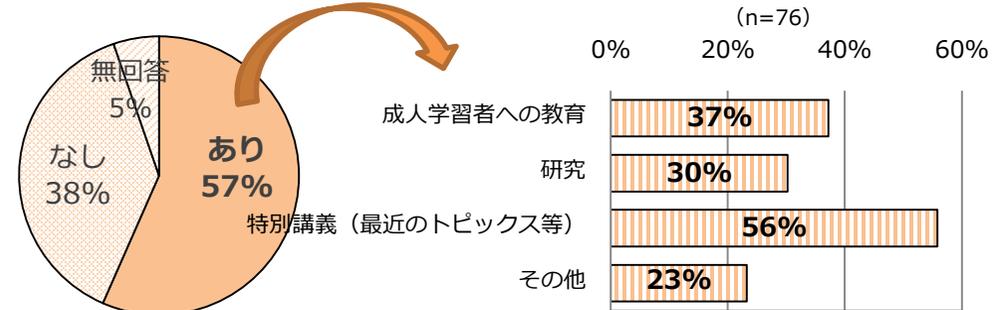
受講にあたり、学習環境を整えるのに困難であったことは何か

0% 20% 40% 60% 80% (n=76)



教務主任養成講習会の教育内容に追加してほしい内容はあるか

(n=76)



④ 講習会の課題や期待

- 看護教員養成講習会では、受講機会拡大のために、開催地の拡大、eラーニングの活用、履修期間の工夫といった意見がみられた。
- 実習指導者講習会では、教員と指導者との連携や、実習環境づくりを講習会の中で学んでほしいとの意見がみられた。

教員養成講習会全体の課題

(調査Ⅰ インタビュー結果からの抜粋・一部改変)

講習会の運営方法について	・都道府県で実施の差が拡大しており、受講機会の拡大のために広域での実施を期待
	・都道府県や協議会などが場づくりを行うことを期待
	・講習会の段階的な計画が必要

教務主任講習会受講を困難にする要因

(調査Ⅲ インタビュー結果からの抜粋・一部改変)

教員数について	・自身が受講すると、代わりとなる教員がない
	・専任教員養成講習会の未受講者の受講が優先される
講習会の開催条件について	・(受講期間が集中的であり)仕事との両立が困難(2年間の履修期間であれば可能)
	・開催地が遠方である
受講料について	・教務主任になるためには必須でないため、県からの予算がつかない

各講習会への今後の期待

(調査Ⅱ 自由記載からの抜粋・一部改変)

専任教員養成講習会について	・eラーニング、TV会議システムなどの取り入れ
	・近県との共同開催、2年間の履修期間など、参加しやすい講習会運営
	・大学との単位互換
教務主任養成講習会について	・eラーニングなどの取り入れ
	・都道府県もしくは地区ブロック単位での開催
実習指導者講習会について	・看護教員と指導者との役割・連携を具体化してほしい
	・実習環境づくりやスタッフ協力について学んでほしい